

## 指定管理者制度活用事業 評価シート

### 1. 基本事項

施設名称	川崎市男女共同参画センター	評価対象年度	平成28年度
事業者名	<b>すくらむ21運営共同事業体</b> ・代表者 株式会社キャリアライズ 代表取締役社長 喜入深至 東京都中央区八重洲1丁目3番22号 ・構成員 東電タウンプランニング株式会社 代表取締役社長 一ノ瀬貴士 東京都目黒区目黒2丁目10-11	評価者	市民文化局人権・男女共同参画室長
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	所管課	市民文化局人権・男女共同参画室

### 2. 事業実績

利用実績	1 施設利用状況					
	平成28年度	提案目標値 (%)	実績値 (%)	○：提案以上 △：提案未満		
	ホール	78.8	90.3	○		
	第1楽屋	55.8	56.6	○		
	第2楽屋	34.7	37.4	○		
	会議室	42.6	37.7	△		
	第1研修室	56.9	58.1	○		
	第2研修室	55.4	53.2	△		
	第3研修室	43.0	40.1	△		
	第4研修室	63.1	63.0	△		
多目的室	50.5	45.8	△			
	<b>平均</b>	<b>53.4</b>	<b>53.6</b>	<b>○</b>		
	2 講座参加者数					
	年度	講座数	開催回数	参加延人数	うち男性	保育利用延人数
	平成25年度	186	318	3,194	566(18%)	296
	平成26年度	135	257	2,252	480(21%)	160
	平成27年度	117	159	1,477	267(18%)	130
	平成28年度	120	164	2,819	255(17%)	90
	※男性の参加延人数・比率に、男女別カウントをしていないホールでのイベント、映画上映会の参加者数は含まれず					
	3 相談件数					
	◆女性のための総合相談					
	年度	電話	法律	面接		
	平成25年度	2,970	61	56		
	平成26年度	3,016	59	53		
	平成27年度	4,057	69	57		
	平成28年度	4,333	70	59		
	◆男性のための電話相談(平成28年4月より実施) 104件 [H27:21件(10月21日～12月16日試行実施)]					
	◆就職希望者のための個別キャリア相談					
	年度	実施回数	申込み	相談件数	保育	
	平成25年度	97	211	83	14	
	平成26年度	168	211	127	23	
	平成27年度	160	183	97	11	
	平成28年度	136	113	67	7	
	4 ホームページアクセス数					
	年度	アクセス数	前年度対比(%)			
	平成25年度	97,539	154.0%			
	平成26年度	115,297	118.2%			
	平成27年度	114,488	99.3%			
	平成28年度	96,890	84.6%			

	5 すくらむ21まつり来場者数															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>来場者数</th> <th>参加団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度</td> <td>3,317</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>4,007</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>3,483</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>2,567</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table>	年度	来場者数	参加団体	平成25年度	3,317	50	平成26年度	4,007	50	平成27年度	3,483	47	平成28年度	2,567	42
年度	来場者数	参加団体														
平成25年度	3,317	50														
平成26年度	4,007	50														
平成27年度	3,483	47														
平成28年度	2,567	42														
収支実績	<p>1 収入 128,650,421円 [H27:127,625,341円]</p> <p>内訳：指定管理料 112,500,000円 [H27:111,909,626円]</p> <p>施設利用料金収入 15,028,821円 [H27:14,056,180円]</p> <p>その他収入 1,121,600円 [H27:1,659,535円]</p> <p>2 支出 *128,616,457円 [H27:126,650,938円]</p> <p>内訳：人件費 43,894,678円 [H27:42,071,000円]</p> <p>事業費 *18,227,289円 [H27:16,859,203円]</p> <p>施設維持管理費 55,057,311円 [H27:56,206,199円]</p> <p>事務経費 11,437,179円 [H27:11,514,536円]</p> <p>3 収支差額 *33,964円 [H27:974,403円] *の箇所は令和2(2020)3月31日に修正</p>															
サービス向上の取組	<p>●施設利用促進の取組 第3研修室、多目的室へのWi-Fiを導入し、利便性を向上させた。 日貸しロッカーの周知を拡大するとともに、大型ロッカーの貸し出しも実施した。</p> <p>●施設予約に関する取組 ホール利用及び保育室利用の案内について、注意事項等の記載をわかりやすい内容に変更し、窓口での案内を的確に行えるようにした。</p> <p>●情報提供の充実 ホームページを活用した積極的な情報発信として、ホールで開催されるイベントについても、利用者の許可を得た上で開催日時やイベント内容、団体のリンク先などの各種情報の掲載を開始した。</p>															

### 3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点																														
利用者満足度	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	6	3	3.6																														
		利用者満足度は向上しているか																																	
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか																																	
	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	6	4	4.8																														
当初の事業目的を達成することができたか																																			
(評価の理由)																																			
<p><b>【利用者満足度】</b></p> <p>●利用者満足度調査を適切に実施し、満足度(よかった+まあよかった)は、目標値の90%以上は達成した。</p> <p>●「6. 利用者の声への対応」(88頁～91頁)に記載のとおり、新たな意見・要望を収集し、Wi-Fiの新規導入や、充電式掃除機の無償貸出、ホールでのイベントのホームページ掲載など、改善に取り組んでいる。</p>																																			
利用者満足度	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>よかった まあよかった</th> <th>どちらとも言えない</th> <th>あまりよくなかった よくなかった</th> <th>無回答</th> <th>回答者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度</td> <td>91.6</td> <td>4.8</td> <td>0.6</td> <td>2.9</td> <td>1,779</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>92.6</td> <td>3.9</td> <td>0.2</td> <td>3.3</td> <td>999</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>94.1</td> <td>3.4</td> <td>0.5</td> <td>2.0</td> <td>2,099</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>90.3</td> <td>2.0</td> <td>0.4</td> <td>7.3</td> <td>1,553</td> </tr> </tbody> </table>		年度	よかった まあよかった	どちらとも言えない	あまりよくなかった よくなかった	無回答	回答者数	平成25年度	91.6	4.8	0.6	2.9	1,779	平成26年度	92.6	3.9	0.2	3.3	999	平成27年度	94.1	3.4	0.5	2.0	2,099	平成28年度	90.3	2.0	0.4	7.3	1,553			
	年度	よかった まあよかった	どちらとも言えない	あまりよくなかった よくなかった	無回答	回答者数																													
	平成25年度	91.6	4.8	0.6	2.9	1,779																													
	平成26年度	92.6	3.9	0.2	3.3	999																													
	平成27年度	94.1	3.4	0.5	2.0	2,099																													
平成28年度	90.3	2.0	0.4	7.3	1,553																														
<p><b>【事業成果】</b></p> <p>●計画に基づき確実に事業を実施し、当初の事業目的を達成している。特に、新規事業として、男性のための男女共同参画についての取組を進め、①男性のための電話相談の本格実施②男性相談員への研修③他自治体の男性相談事業の調査④シングルファーザー向けリーフレットの発刊などを行った。また、川崎で活躍する女性や男女共同参画の推進の担い手による「川崎で輝く女性たち 女性が語るトークサロン」を新たに開催し、幅広い世代の市民が女性活躍の意義や必要性を学んだ。さらに、女性活躍推進法に関連する取組として、中小企業等事業所と連携して女性メンターの育成講座を開催した。</p> <p>●学習・研修事業については、平成27年度の事業結果を分析・改善し、親子や家族で楽しみながら、地域の人どうしが触れ合うきっかけとなるよう、ホールを利用した週末イベント等を開催した。その結果、参加人数が増加したことにより、センター及びセンターの取組に接する機会の増加及び周知を図ることができた。</p>																																			

収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3	
		支出に見合う効果は得られているか				
		効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組は為されたか				
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	4	4	
		収入増加のための具体的な取組が為されているか				
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	3	3	
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
	(評価の理由)					
	<p><b>【効率的・効果的な支出】</b>  ●収支計画書に基づき、ほぼ計画通りの支出となった。</p> <p><b>【収入の確保】</b>  ●館内9施設のうち4施設が提案以上の施設稼働率を上げ、施設利用率の全体平均は目標の53.4%を上回り、53.6%だった。施設利用料金収入は15,029千円となり、昨年より増収し、過去最高額を更新した。[H27:14,056千円]</p> <p><b>【適切な金銭管理・会計手続】</b>  ●平成27年度の収支報告書において現場と本社の双方で十分な確認がされていなかった経緯から、月に1回の連絡調整会議に本社社員も出席するなど、事務執行における緊密な確認が取れるよう体制を構築し、現場と本社、市との連携を改善・強化した。</p>					
	サービス向上及び業務改善	適切な事業の実施 (調査研究・啓発事業)	提供すべき事業内容が仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	7	3	4.2
実施事業の利用促進への具体的な取組が為されているか						
利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか						
適切な事業の実施 (相談事業)		提供すべき事業内容が仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	7	4	5.6	
		実施事業の利用促進への具体的な取組が為されているか				
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
適切な事業の実施 (情報提供事業)		提供すべき事業内容が仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	7	3	4.2	
		実施事業の利用促進への具体的な取組が為されているか				
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
適切な事業の実施 (学習・研修事業)		提供すべき事業内容が仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	7	4	5.6	
		実施事業の利用促進への具体的な取組が為されているか				
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
適切な事業の実施 (交流・ネットワーク事業)		提供すべき事業内容が仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	7	4	5.6	
		実施事業の利用促進への具体的な取組が為されているか				
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
適切な事業の実施 (自主事業、その他事業)		提供すべき事業内容が仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	3	3	1.8	
		実施事業の利用促進への具体的な取組が為されているか				
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
業務改善によるサービス向上		実施計画と実際の事業実施内容に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	4	3	2.4	
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか				
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか				
利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	4	4	3.2		
	意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)					
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					

サービス向上及び業務改善	(評価の理由)				
	<p><b>【調査研究・啓発事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新規事業として、市や各区・地域で行われる防災訓練や各種出前講座の中で、ヒアリングやアンケートを実施し、市民の防災意識の高まり、女性の視点を踏まえた避難所運営の必要性等を確認するとともに、アンケート結果をレポートとしてまとめた。</li> <li>●平成28年4月に常設化した「男性の電話相談」事業の安定的な運営に向けて、男性相談相談員の養成に係る仕組みを検討する委員会を平成28年度も開催した。また、新たに男性相談員にも研修を行い、必要な知識・スキルの形成に努めた。男性対象の相談事業を実施している他自治体の実施状況を調査し、各種課題の整理と今後の方向性の検討を行った。</li> </ul> <p><b>【相談事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●主軸である「ハロー・ウィメンズ110番」は、引き続き安定した運営体制を構築していること、相談カード・チラシを継続して作製・配布し、広報活動を行ったことから、大幅に増加した平成27年度の相談件数を上回り、4,333件となった。[H27:4,057件]</li> <li>●平成28年4月より「男性のための電話相談」を常設化し、安定的な運営に向け、男性相談周知のためチラシやカードを関係施設等に配布するなど、積極的な広報活動を展開した。また、相談マネージャー企画によるカンファレンスを開始(10回開催)し、課題抽出・相談員のスキル向上につなげた。</li> <li>●平成28年度に新たに機能整備された「川崎市DV相談支援センター(こども未来局)」との情報交換会を企画・開催し、被害者支援に向けた情報共有・連携を図った。</li> </ul> <p><b>【情報提供事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ホームページアクセス数は、年間講座数の微減により前年度比84.6%の96,890件[H27:114,488件]であったが、防災や相談、創業支援等の事業紹介ページのアクセス数は前年度より増加し、34,547件[H27:23,830件]であった。</li> <li>●メディア・プレス等の掲載実績は、年度事業計画で設定した目標値60件を下回り、45件であった。</li> <li>●「シングルファーザー生活実態インタビュー調査」が事業企画大賞奨励賞(NPO法人全国女性会館協議会主催)を受賞した。本調査結果を踏まえ、シングルファーザー向けリーフレット「みんなどうしてる?」を発行した。</li> <li>●父子手帳「もちるべ」がキッズデザイン男女共同参画部門奨励賞(NPO法人キッズデザイン協議会主催)を受賞し、メディアにも取り上げられた。館内等での展示、市内各区の両親学級や関係機関等への配布、センター内掲示板の活用など積極的に広報を実施し、男性の子育て参画について広く啓発した。</li> </ul> <p><b>【学習・研修事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●講座受講者数は、実施講座の内容を精査・再検討し、男女共同参画の推進につながる講座を重点的に実施したこと、家族で参加しながら地域とも触れ合えるようにNPO等と協働して週末に子育てイベントを交えて実施したことにより、前年度とほぼ同じ講座数ながら、延べ参加者数が2,819人に増加した。その結果、センター及びセンターの取組に接する機会の増加及び周知を図ることができた。[H27:1,477人]</li> <li>●新規事業「川崎で輝く女性たち 女性が語るトークサロン」によって、駅長、民生委員など多方面で活躍する女性をゲストに迎え、経歴や体験を学び、参加者との交流を深めた。</li> </ul> <p><b>【交流・ネットワーク事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●毎年度開催している「すくらむ21まつり」を、男女平等推進週間(6月23日～29日)に合わせ、開催時期を2月から6月に変更した。前回から4か月後の開催であったが、2,567名の参加があった。[H27:3,483人]</li> <li>●女性活躍推進法に関連する取組として、市内中小企業等事務所や勤務する女性に働きかけ、新たにメンター育成講座を実施し、参加者に修了証を交付するとともに事業所に認定証を発行して、積極的な女性活躍の推進を支援した。市内工業団体女性活躍推進事務局長会議の構成団体の協力を得て、中小企業等事業所に勤務する女性が、業務時間に研修を受けられるようにした。</li> <li>●市の運営委員会廃止に伴い、有識者、市民利用者、関係団体代表者などを構成員とする「センター運営推進委員会」を指定管理者が新たに設置し、センターの事業や施設の利用促進等について協議・意見交換を行った。</li> </ul> <p><b>【自主事業、その他事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●前年度に引き続き、高津区役所からの委託で、防災啓発グッズ「たためる携帯うがいコップ」とミニ冊子「水の防災心得集」をセットで作成し、区役所主催の防災イベント等での配布を行った。[H27:「ぼうさい手ぬぐい」作成]</li> <li>●乳幼児とその保護者を対象とした参加型イベント「ほっと・ほっと・ミュージカル」を開催した。ピーターパンを題材としたオリジナル脚本・音楽の「ミュージカル」の上演、アウェアネスリボンの色に込められた意味を紹介する展示の実施により、センターの認知度拡大につなげた。</li> </ul> <p><b>【業務改善によるサービス向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●毎月行う行政の所管部署との連絡調整会議にて、事業の進捗や課題を確認して進行管理を的確に行い、計画に沿って確実に事業を実施した。</li> </ul> <p><b>【利用者の意見・要望への対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●第3研修室と多目的室のWi-Fi化を実施し、パソコンの利用環境を改善した。</li> <li>●日貸しロッカーの積極周知を行うとともに、大型ロッカーの貸し出しについても導入した。</li> <li>●利便性向上や事故防止の観点から、駐車場の入口が目立つように反射板・案内板を取り付けた。</li> <li>●ホール利用のイベントで主催者が公開可としたものについて、イベント内容や団体のリンク先などの各種情報のホームページ掲載を開始した。</li> </ul>				
	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	3	2.4
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか	3	3	1.8
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか			
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	3	2.4
		緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか			
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	3	3	1.8
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか			
環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか	3	3	1.8	

組織管理体制	(評価の理由)				
	<b>【適正な人員配置】</b> ●職員の病休があった際の人員を補充するなど、業務に支障が出ないように迅速かつ適正な人員配置がなされた。				
	<b>【連絡・連携体制】</b> ●所管部署との連絡調整会議を毎月開催し、事業実施結果や当月事業予定、相談・確認事項、施設管理運営状況についての報告、各種事業の進捗状況や課題等の確認等を行っている。毎月の事業報告書の様式を改め、企画段階から事業完遂までを見通して事業の進捗を確認し、課題の把握や進行管理が的確に行えるようにした。本社社員も同会議に出席し、情報共有を確実に行うとともに、現場、本社、所管課との連携ができる体制を構築した。また実施事業や施設の管理や運営での相談・確認事項がある場合は打合せを随時行っており、業務改善に向けた協議を進めている。				
	<b>【担当者のスキルアップ】</b> ●職員全員を対象としたスキルアップのための勉強会や、社会情勢等を考慮した個人情報保護研修、コンプライアンス研修などを実施しており、業務に必要な知識の習得、再確認を行っている。				
	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
適正な業務実施	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか	5	3	3
	外構・植栽管理	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
	(評価の理由)				
<b>【施設・設備の保守管理】</b> ●仕様書に基づき、法令点検及び定期点検を確実に実施している。また指定管理者独自の取組として、独自様式の管理チェックシートを活用した不具合・危険個所の確認、自主点検による安全確認を実施しており、警備員の巡回と併せて不具合を見落とさない体制を整備している。					
<b>【清掃・警備・外構・植栽管理・備品管理】</b> ●外観・内観ともに美観が保たれている。日常清掃では、清掃員に「日常清掃実施報告書」の作成を義務付け、施設管理運営責任者が内容を確認している。警備員は時間毎の定期巡回を実施し、設備等に破損等がないか確認を行っている。巡回時間以外は施設入口付近での立哨警備を行っている。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	67.2	評価ランク	C
-------	------	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>各種、多様な講座・研修・イベントの実施をはじめ、男女共同参画の視点をもった防災への取組や事業者・市民団体・NPO・地域経済団体等との連携を積極的に行い、本市男女共同参画推進拠点としての役割を果たすと同時に、施設稼働率の目標値達成、施設利用料金収入の過去最高額の更新など安定的な運営を行った。</p> <p>新たな取組として、「男性のための電話相談」の常設化に加えて、男性相談に関する他都市調査や相談員の研修を行うとともに、「シングルファーザー向けリーフレット」の発行など、男性における共同参画の理解促進や環境づくりに寄与した。また、女性に焦点をあてた事業についても、新規事業「川崎で輝く女性たち 女性が語るトークサロン」を始めたほか、メンター育成講座の実施や女性総合相談の増加への対応など、幅広く着実にいった。</p> <p>一方、情報提供事業は、先導的な取組である冊子等が男女共同参画関係団体などから顕彰・評価されているが、ホームページアクセス数が約15%減少しており、センターに関する総合的な情報発信・周知が課題である。</p>
---

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<ul style="list-style-type: none"> <li>●より効率的かつ効果的な広報を行い、講座受講者等の増加を図ること。</li> <li>●常設化した「男性のための電話相談」を確実に遂行し、男性にとっての相談体制を安定したものとすること。</li> <li>●女性活躍推進法に基づき、企業等と積極的に連携し、女性活躍の推進に取り組むこと。</li> <li>●センター運営推進委員会を活用して、外部からの意見を取り入れ、センターの運営向上に努めること。</li> <li>●積極的に施設の利用促進を図り、引き続き、提案書に掲げている施設稼働率・施設利用料金収入の目標値を達成すること。</li> <li>●利用者の意見・要望を事業や施設管理運営に反映するために創意工夫をし、サービス向上につなげること。</li> <li>●ウェブアクセシビリティの改善やスマートフォンユーザーへの対応などホームページの改修を行い、アクセス数の向上を図ること。</li> </ul>
---